

付

構造躯体の保存ファイルのデータ形式

付 Aspace 躯体保存ファイルのデータ形式

<書式について>

- データは、各項目毎に決められた形式で入力を行います。形式を表記する際に用いられている記号の内容は、下記の通りです。

<改行を示す表記>

/ : 改行マーク

<データタイプを示す表記>

Xn : X個の整数 X=1のときは記述しない。以下同様

Xf : X個の実数

XcY : X個の半角最大Y文字列 前後に「 ” 」を付ける。

データ間は空白で区切るものとします。

データを省略する事は原則的に出来ません(出来る場合はその都度項目の説明に明記します)。

ダミ-の場合には、0又は">"(文字列用)を記述します。

各項目の説明がある場合には、データタイプの下に明記しています。

Xn、XfでXが指定された場合には、(1)(2)...で入力するデータの内容を明記しています。

データは、79カラム目まで入力可能です。

一般・形状定義データ (DB_1~23)

配置データ (DB_24~46)

部材データ (DB_47~111)

特記無き限り、説明文中の通線は、通り線と間通り線を示すものとする。

一般・形状定義データ

DB_1 タイトル

件名:c79 / 略称:c9 / 形状認識レベル:n / 地盤面定義層番号:n / X・Y方向基準通番号:2n
 / 入力モード:n / ダミ-:5n / 部材の選択項目:5n / 同左:5n / 同左:5n
 / データのバージョン:n ファイルの種類:n 読み込みフラグ:n

DB_2 鉄筋材種

鉄筋番号:n タイプ:n 径名:c7 径:n 材料名:c7 鉄筋マーク:n / 許容応力度:4f ダミ- :n

鉄筋番号 : 参照元 DB_52・55・57・68・71・73・74・81・84・85・86・89・90・92・99・102

タイプ : 0:異形 1:丸鋼 2:S 3:U 4:RB

径 : 公称径(1/10mm)

鉄筋マーク : 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

● ● × × ○ ○ ● ● ○ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

許容応力度 : (1)長期引張 (2)長期せん断 (3)短期引張 (4)短期せん断(kg/c m²)

DB_3 鉄骨材種

鉄骨番号:n 材料名称:c7 F値:3f ダミ-:n

鉄骨番号 : 参照元 DB_59・76

F値 : (1)40mm以下 (2)40mmを越える (3)75mmを越える

DB_5 コンクリート材種

適用層範囲:2n 材種:n 適用部材種類:n F値:f ヤング係数:f 単位重量:f せん断弾性係数:f

適用層範囲 : (1)上限層番号 0の時 最上層 (2)下限層番号 0の時 最下層

材種 : 0:普通 1:軽量

単位重量 : (KN/m³)

F 値,ヤング係数,せん断弾性係数: (N/mm²)

適用部材種類 : 10:柱 20:大梁 21:小梁 22:基礎梁 23:基礎小梁
 30:ブレース 40:床版 41:耐圧版 50:壁板 60:独立基礎 61:杭
 70:布基礎 80:パレット 90:階段 100:場所打コンクリート杭

DB_6 層名称

層名称:c7 層番号:n

DB_7 通線名称

通線名称:c7 通線番号:n

DB_8 中間層名称

中間層名称:c7 中間層番号:n

DB_9 斜面名称

斜面名称:c7 斜面番号:n

DB_10 部材名称

部材名称:c7 部材種類:n 部材番号:n

部材種類 : 10:柱 17:スタッドボルト 18:柱継手 19:アンカボルト
 20:大梁 21:小梁 22:基礎梁 23:基礎小梁 28:梁継手
 30:ブレース 40:床版 41:耐圧版 50:壁板 51:壁開口
 60:独立基礎 61:杭 70:布基礎 80:パレット 90:階段
 100:室用途/仕上 110:木材 111:接合部金物 120:合板セット 130:単材鉄骨
 部材番号 : <=32767 =0の時, 部材種類は過去の最大番号を示す。

層名称、通線名称、中間層名称、斜面名称は、番号=0のとき過去の最大番号の16進表示文字列とする。

DB_11 部材リスト表示順

部材種類:n 表示順番:n 部材番号:n

部材種類 : DB_10 に同じ
 表示順番 : 部材種類毎のリストにおける表示順番

DB_12 水平層面レベル

識別子:n 番号:n コントロール:n 位置:f

識別子 : 1:層 2:中間層 <0:中間層を適用外とする層番号 *-1
 番号 : 層番号 中間層番号 中間層番号
 コントロール : 代表層番号(0:代表) 適用層番号(0:共通) ダミ
 位置(mm) : GL から 層から ダミ

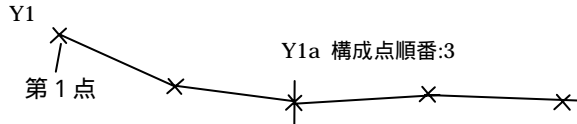
DB_13 軸線非表示指定

層面番号:n 通線番号:n

DB_15 平面形状定義 1

形状定義番号(DB_17キ-) : n 種類 : n コントロール : 3n データ : 2f

種類	: 1: 通線 2: 間通線	3: 補助折線	4: 補助円弧
コントロール(1)	: 壁面線番号	ダミー	ダミー
コントロール(2)	: 最下層番号	ダミー	ダミー
コントロール(3)	: 構成点数	同左	ダミー
データ(1)	: 第 1 点 x 座標	同左	中心 x 座標
データ(2)	: y(mm)	同左	y(mm)

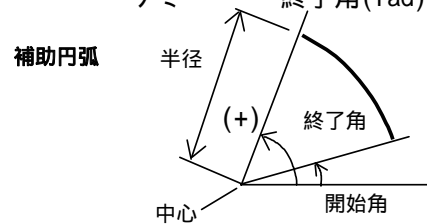


通線, 間通線のコントロール, データは同じとする。
 構成点数=0 の場合は、最下層に示される層から上部にその通線は存在しないものとする。

DB_17 平面形状定義 2

形状定義番号(DB_15キ-) : n 識別子 : n データ : 2f

	<通り線, 間通り線>	<補助折線>	<補助円弧>	
識別子	: 構成点番号	同左	1	2
データ(1)	: 構成点 x 座標	同左	半径(mm)	開始角(rad)
データ(2)	: y(mm)	同左	ダミー	終了角(rad)



DB_18 斜面定義その 1

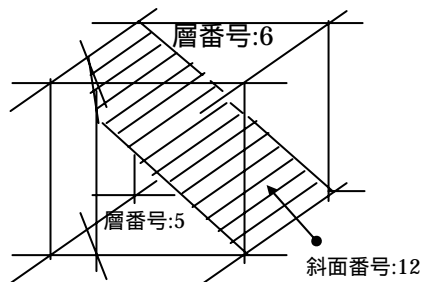
斜面番号(DB_19キ-) : n 周辺通線番号 : 4n 周辺壁面線数 : n
 繰返し上限層番号 : n / 下辺範囲 : 5n 上辺範囲 : 5n / 斜面定義係数 : 10f

周辺壁面線番号 : (1)-(4) 右回り 周辺数=3 の時(4)はダミー(=0)
 繰返し上限層番号 : 上辺の水平層面を構成する層番号の最上層番号
 下辺範囲 : (1)層番号 (2)ダミー層番号 (3)先頭壁面線番号 (4)壁面線数 (5)斜面タイ
 上辺範囲 : (1)-(4) 同上 (5)ダミー

DB_19 斜面定義

斜面番号 : n 順番(>=5) : n 通線 : n

<例> DB_18 12 17 1 12 4 5 6
 5 0 4 1 0 6 0 1 1 0
 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
 DB_19 12 5 9



DB_20 寸法線 1 (ダミー : 現在未使用)

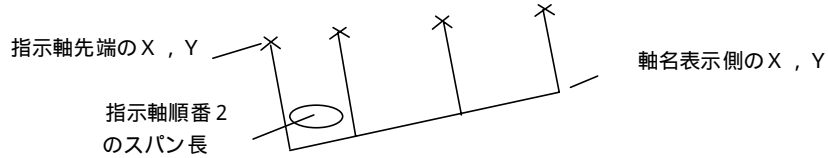
寸法線番号(DB_21キ-) : n 適用上限層番号 : n 適用下限層番号 : n 通線指示数 : n

適用上限層番号 : 0 の時最上層
 適用下限層番号 : 0 の時最下層

DB_21 寸法線 2 (ダミー : 現在未使用)

寸法線番号(DB_20キ):n 指示通線順番:n 通線:n スパン長:f 指示通線分座標値:4f

スパン長(mm) : 指示通線順番のスパン長 通線順番 = 1 の時全長
 指示軸線分座標値(mm) : (1) 先端 X 座標 (2) 先端 Y 座標
 (3) 通名表示側 X 座標 (4) 通名表示側 Y 座標



DB_22 床面下り寸法

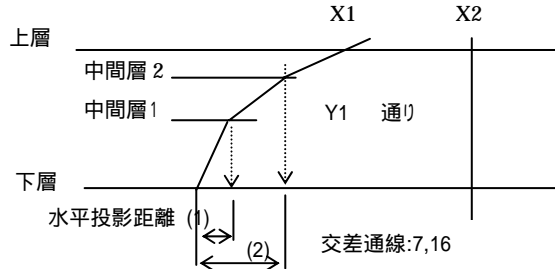
層番号:n 従属層番号:n 床面下がり寸法(1/10mm):n

従属層番号 : 正の時:中間層 負の時:斜面

DB_23 中折れ位置

下/上層番号:2n 交差通線:2n 中間層番号:2n 水平投影距離:2f

水平投影距離 : 下層交差点からの投影点までの距離 (mm)



配置データ

配置データは、層面番号(以下:層面)及び、通線番号(以下:通線)で位置が示されるものとする。
 層面番号は、複合データとする。

層面番号 正: 中間層番号 * 32768 + 層番号
 負: (斜面番号 * 32768 + 層番号) * -1
 層番号 = 0 の時は、最下層の下側を示すものとする。

DB_24 柱躯体配置

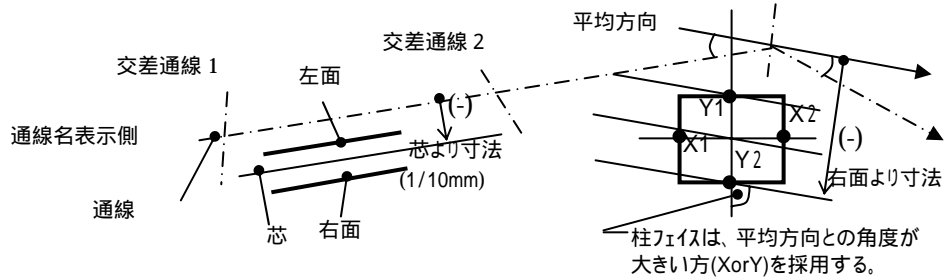
下/上層面:2n 交差通線:2n 部材番号:n 主軸 X 方向(rad):f 下層面からの鉄骨継手位置(mm):n
 下/上部接合金物番号(DB_111):2n

DB_25 より指定

下/上層面:2n 通線:n 交差通線:2n 種類:n 指定方法:n より寸法(1/10mm):n

種類 : 0:共通 1:柱 2:梁 3:壁 4:ブレース
 指定方法 : 仰角度*100 + 寸法合せ面 (-1:左面 0:芯 1:右面)
 仰角 : 0-90:左側凸 90 越え-180:右側凸

柱の個別指定では、交差通線が等しく、梁の個別指定では下/上層面が等しい。



DB_26 梁躯体配置

層面:n 壁面線:n 交差通線:2n 部材番号:n 前後端部接合金物番号(DB_111):2n

DB_27 梁位置指定

層面:n 通線:n 交差通線:2n 天端位置(1/10mm):n 天端傾斜:n

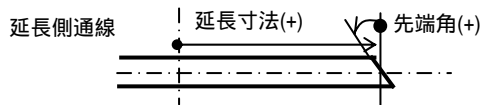
天端傾斜 : 0:水平
 1:壁面直角(未対応)



DB_28 梁端部延長

層面:n 壁面線:n 交差通線:2n 延長側通線:n 延長寸法(1/10mm):n 先端角(rad):f

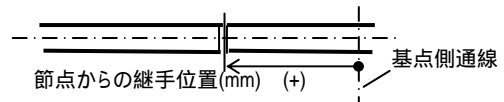
先端角度 : 左廻りを正



DB_29 梁鉄骨継手位置

層面:n 通線:n 交差通線:2n 基点側通線:n 基点:n 継手位置(mm):n

基点 : 1:節点
 2:柱フェイス(下層優先)
 継手位置 : -10000 の時、部材データを優先



DB_30 床配置

層面:n 周辺通線:4n 周辺通線数:n 部材番号:n 下り寸法(1/10mm):n
 デッキ方向:n 室用途部材番号(DB_100):n

周辺通線 : 右回り 周辺通線数=3 の時、通線 4 はダミー
 デッキ方向 : デッキ方向(度)+1000 で指定する。 0 のときは、方向性なし
 例)0 の時 方向性なし

1000 の時 0 度方向に方向性あり
 970 の時 -30 度方向に方向性あり
 1030 の時 30 度方向に方向性あり

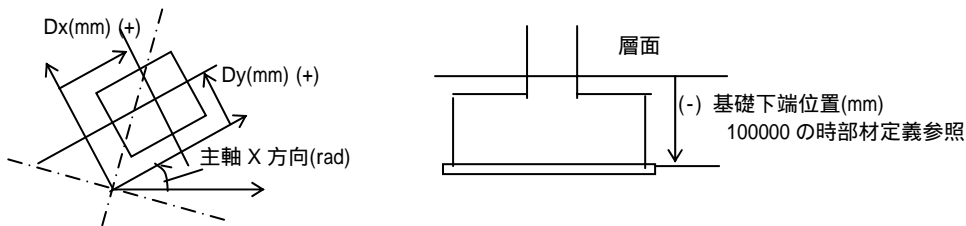
DB_31 床配置 2

層面:n 通線順番(>4):n 周辺通線:3n 通線:n

周辺通線 : DB_30 の周辺通線 1 ~ 3

DB_32 独立基礎配置

層面:n 交差通線:2n 部材番号:n 杭部材番号:n / 主軸 X 方向(rad):f より寸法 Dx(1/10mm):n
 より寸法 Dy(1/10mm):n 下端位置(1/10mm):n



DB_33 プレス躯体配置

下/上層面:2n 通線:n 交差通線 1:n 交差通線 2:n タイ° :n 部材番号:n

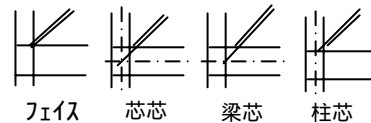
タイ° : 0: X
 1: N(交差通線 1 側が上)
 2: Z(交差通線 2 側が上)

交差通線 1 側 交差通線 2 側

DB_34 プレス加工配置

下/上層面:2n 通線:n 交差通線:2n 位置:n 押え:n 継手位置:n

位置 : 1:左下 2:左上 11:右下 12:右上
 押え : 1:フェイス 2:芯芯 3:梁芯 4:柱芯
 継手位置 : -10000 時部材データを優先



DB_35 壁配置

下/上層面:2n 通線:n 交差通線:2n 部材番号:n

DB_36 壁端部延長配置

下/上層面:2n 通線:n 交差通線:2n 延長側交差通線:n / 延長寸法(1/10mm):n
 先端角(rad):f ｽﾘｯﾄ有無:n

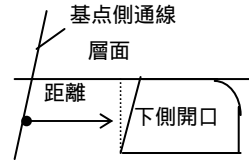
延長側交差通線, 延長寸法, 先端角 : DB_28 に同じ
 ｽﾘｯﾄ有無 : 0:無し 1:有り

DB_37 壁上下延長配置

下/上層面:2n 壁面通線:n 交差通線 1 :n 交差通線 2:n 延長側:n 延長寸法(1/10mm):n
 先端角(rad):f リット有無:n
 延長側 : 0:上側 1:下側
 先端角 : 延長方向向かって左廻りを正

DB_38 壁開口配置

層面:n 壁面通線:n 交差通線 1 :n 交差通線 2:n
 基点側交差通線:n 位置:n 距離(mm):n 部材番号:n
 位置 : 0:上側 1:下側



DB_39 室用途/仕上配置

下/上層面:2n 通線:4n 周辺通線数:n 部材番号:n

通線 : DB_30 に同じ

DB_40 室用途/仕上配置 2

層面:n 通線順番(>4):n 通線:n

DB_41 耐圧版配置

層面:n 周辺通線:4n 周辺通線数:n 部材番号:n 下り寸法(1/10mm):n

壁面線 : DB_30 に同じ

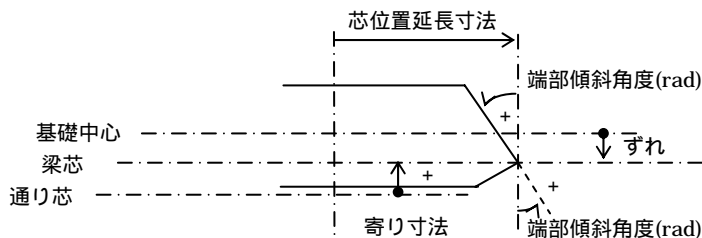
DB_42 耐圧版配置 2

層面:n 通線順番(>4):n 周辺通線:3n 通線:n

周辺通線 : DB_31 に同じ

DB_43 布基礎 1

層面:n 通線番号:n 交差通線番号:2n 部材番号:n 基礎下端位置(1/10mm):n
 寄り寸法(1/10mm):n



布基礎(断面図を除く)を描くにあたって梁は見ません。

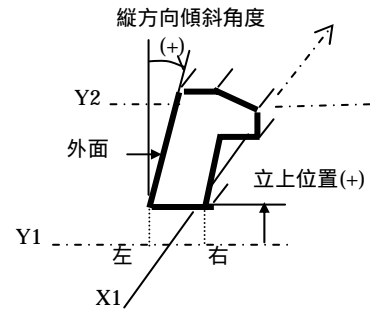
DB_44 布基礎 2

層面:n 通線番号:n 交差通線番号:n 延長側通線番号:n 芯位置延長寸法(1/10mm):n
 端部傾斜角度:n

DB_45 パラペット配置

層面:n 通線:n 交差通線:2n 部材番号:n
外面:n 立上位置(1/10mm):n 傾斜角度(rad):f

外面 : 0:右 1:左
傾斜角度 : パラペット向きへの傾きが+ (正)



DB_46 パラペット端配置

層面:n 通線:n 交差通線:2n 延長側通線:n 延長寸法(1/10mm):n 先端角(rad):f

延長寸法等 : DB_28 に同じ

部材データ

詳しい説明は躯体入力編 (ASIN) のマニュアルをご参照ください。

DB_47 柱一般部断面コントロール

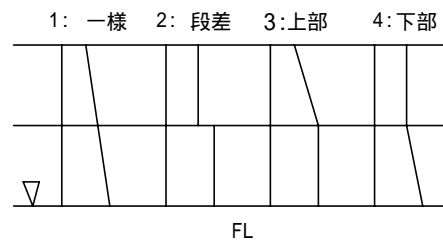
部材番号:n 下層面:n コンクリート形状番号(DB_51 ｷ-):n 主筋形状番号(DB_52 ｷ-):3n
フープ形状番号(DB_55 ｷ-):n ダイアフープ形状番号(DB_57 ｷ-):n
鉄骨組立形状番号(DB_58 ｷ-):n 鉄骨形状番号(DB_59 ｷ-):2n

主筋形状番号 : (1)1種 (2)2種 (3)芯鉄筋
鉄骨形状番号 : (1)X方向(BOX等の単材かねる) (2)Y方向

DB_48 柱脚部RC断面コントロール

部材番号:n 下層面:n コンクリート形状番号(DB_51 ｷ-):n 主筋形状番号(DB_52 ｷ-):3n
フープ形状番号(DB_55 ｷ-):n ダイアフープ形状番号(DB_57 ｷ-):n 形状変化タイプ:n /
下層面からの高さ(mm):3n

主筋形状番号 : (1)1種 (2)2種 (3)芯鉄筋
形状変化タイプ : 1:一様 2:段差
3:上部変化 4:下部変化
下層面からの高さ : (1):コンクリート形状
(2):鉄筋 (3):フープ



DB_49 柱脚部S断面コントロール

部材番号:n 下層面:n 鉄骨組立形状番号(DB_58 ｷ-):n 鉄骨形状番号(DB_59 ｷ-):2n
鉄骨部材番号:3n / 下層面からの高さ(mm):5n

鉄骨形状番号 : (1)X方向(H、型) (2)Y方向(I型)
鉄骨部材番号 : (1)継手(DB_50 ｷ-) (2)アンカーボルト(DB_60 ｷ-) (3)スタッドボルト(DB_61 ｷ-)
下層面からの高さ : (1)形状変化始端 (2)継手位置 (3)ハースプレート下端 (4・5)ダミー(常に0)

DB_50 柱継手

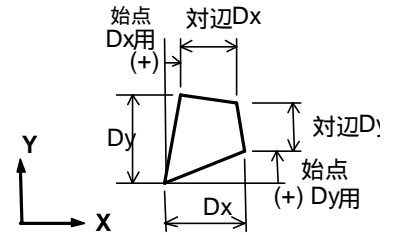
部材番号:n フランジ継手形状番号(DB_94):2n ウェブ継手形状番号(DB_95):2n クリアンス(mm):n

フランジ継手形状番号, ウェブ継手形状番号 : (1) X方向 (2) Y方向

DB_51 柱コンクリート

コンクリート形状番号:n 底辺:2n 対辺:2n 始点:2n

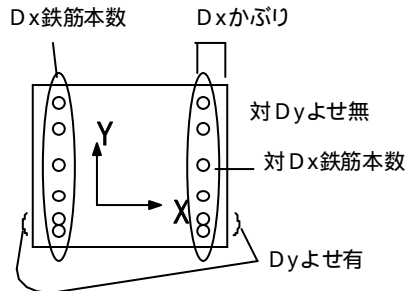
コンクリート形状番号 : 参照元 DB_47・48・78
 底辺(mm) : (1) Dx (2) Dy(0のとき円柱)
 対辺(mm) : (1) Dx (2) Dy
 始点(mm) : (1) Dx (2) Dy



DB_52 柱主筋

主筋形状番号:n 種類:n 鉄筋本数:4n 鉄筋径番号(DB_2キ):n よせ筋有無:4n / かぶり(1/10mm):4n 鉄筋位置番号:4n

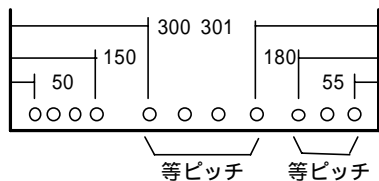
主筋形状番号 : 参照元 DB_47・48・78
 種類 : 1: 1種 2: 2種 3: 芯鉄筋
 鉄筋本数, よせ筋有無, かぶり : (1) Dx (2) 対Dx (3) Dy (4) 対Dy
 鉄筋位置番号 : (1) Dx (2) 対Dx (3) Dy (4) 対Dy
 種類が1,3の時(DB_53キ)
 種類が2の時(DB_54キ)
 位置番号のないものは、指定間を等ピッチとする。
 2種主筋並び位置番号のないものは、指定間を等ピッチとする。
 円柱は Dx データのみ使用する。



DB_53 柱鉄筋辺内置

鉄筋位置番号:n 位置指定数:2n / 鉄筋順番:10n / 位置(1/10mm):10n

鉄筋位置番号 : 参照元 DB_52
 位置指定数 : (1) 左側 (2) 右側
 鉄筋順番 : 位置指定を行う鉄筋の順番を中央に向かって指定します。
 位置 : 鉄筋順番で指定された鉄筋の位置を中央に向かって指定します。



- 左図の場合の入力例 -
 1 3 3
 1 4 5 0 0 0 0 4 3 1
 500 1500 3000 0 0 0 0 3010 1800 550

DB_54 2種主筋並び位置

鉄筋位置番号:n 位置指定数:2n / 鉄筋順番:10n / 2種鉄筋内順番:10n

鉄筋位置番号 : 参照元 DB_52
 位置指定数 : (1) 左側 (2) 右側
 鉄筋順番 : 2種鉄筋内順番の指定を行う鉄筋の順番を中央に向かって指定します。
 2種鉄筋内順番 : 鉄筋順番で指定された鉄筋が2種鉄筋としては何番目に相当するか中央に向かって指定します。



- 左図の場合の入力例 -
 1 4 2
 1 3 5 7 0 0 0 0 3 2
 1 3 4 5 0 0 0 0 2 1

DB_55 フープ

フープ形状番号:n フープ本数:3n 鉄筋径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n
 巻き付け方向番号(DB_56キ-):2n

フープ形状番号 : 参照元 DB_47・48・78
 フープ本数 : (1)外周(0:外周 1:内x 2:内y) (2)内x方向 (3)内y方向
 巻き付け方向番号 : (1)内x方向 (2)内y方向
 円柱は x方向データのみ使用する

DB_56 フープ巻き付け方向

巻き付け方向番号:n 方向:n 内部順番:n 巻き付方向:n

巻き付け方向番号 : 参照元 DB_55
 方向 : 0:外周 1:内x 2:内y
 内部順番 : 0:全体(当面全体のみ)
 巻き付方向 : 0:左巻き 1:右巻き

DB_57 ダイアフープ

ダイアフープ番号:n 径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n

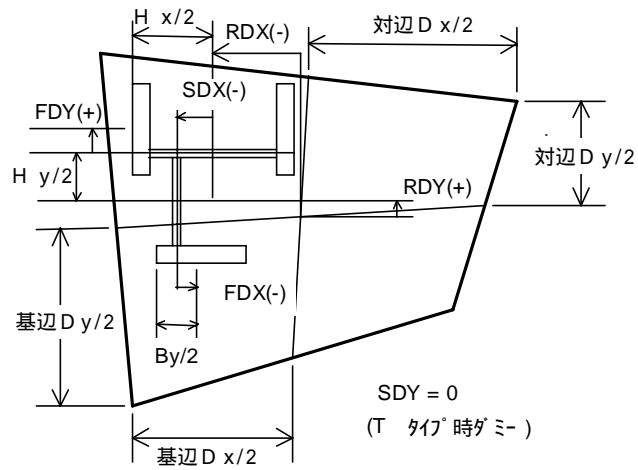
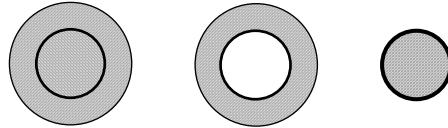
ダイアフープ番号 : 参照元 DB_47・48・78

DB_58 柱鉄骨組立形状

組立形状番号:n SC造コンクリート施工タイプ:n 芯ずれ位置:2n コンクリート内鉄骨芯ずれ位置:2n
 フランジ芯ずれ:2n

組立形状番号 : 参照元 DB_47・49・78
 SC造コンクリート施工タイプ : 0:被覆充填 1:被覆 2:充填
 芯ずれ位置(mm) : (1)SDX (2)SDY
 コンクリート内鉄骨芯ずれ位置(mm) : (1)RDX (2)RDY
 フランジ芯ずれ(mm) : (1)FDX (2)FDY

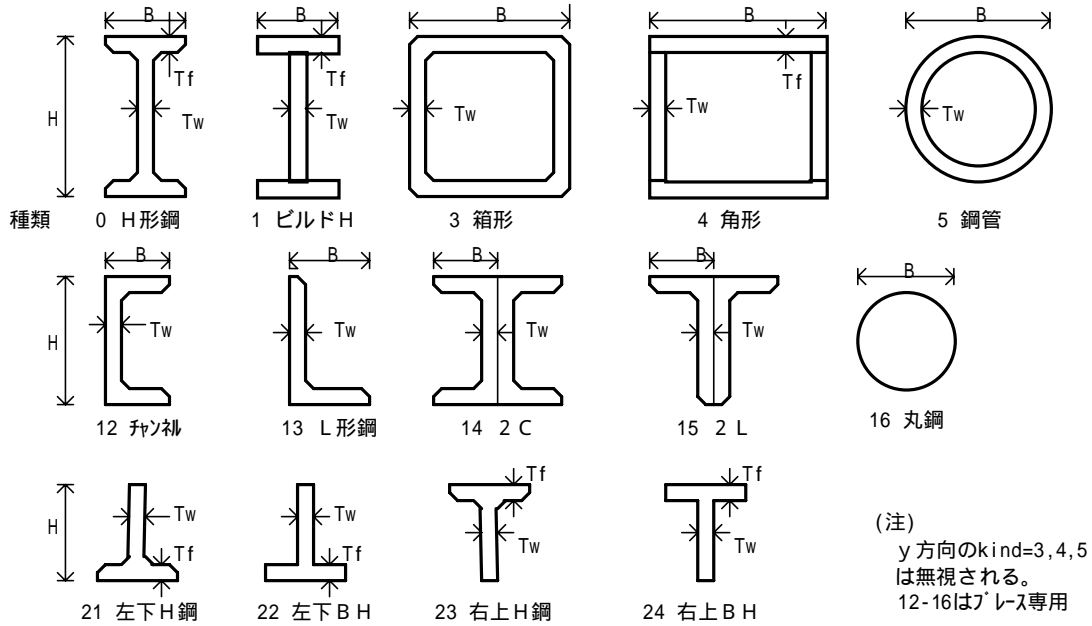
0: 被覆充填 1: 被覆 2: 充填



DB_59 柱鉄骨単材

鉄骨形状番号:n 種類:n H(mm):n B(mm):n Tw(1/10mm):n Tf(1/10mm):n 隅半径(1/10mm):n
 材種番号(DB_3キ-):2n C, L鋼の向き:n L鋼のウェブ位置:n

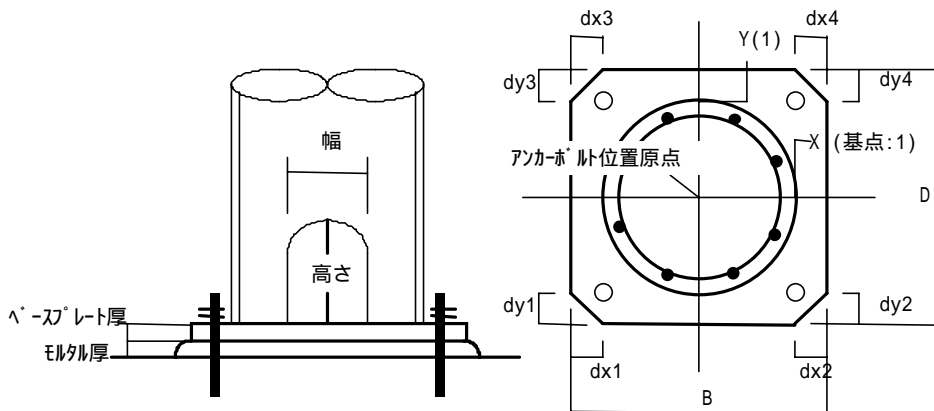
鉄骨形状番号 : 参照元 DB_47・49・78
 材種番号 : (1)フランジ (2)ウェブ
 C, L鋼の向き : 0:左 1:右
 L鋼のウェブ位置 : 0:上 1:下



DB_60 アンカーボルト

部材番号:n ベースプレート形状:10n / ベースプレート形状 2:6n
 / ベースモルタル厚さ:n アンカーボルトデータ:5n 鋼管欠損:3n 伸び能力の有無:n
 / アンカーボルトデータ 2:25n

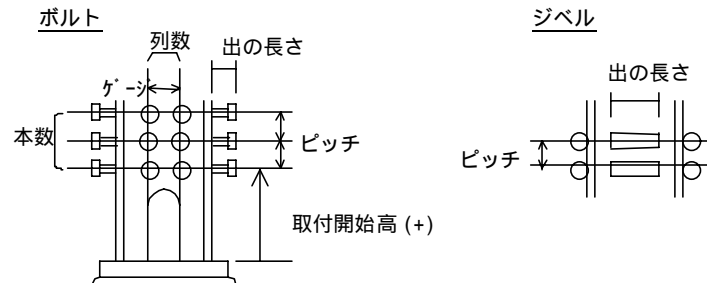
部材番号 : 参照元 DB_49
 アンカーボルトデータ : (1,2)x,y 本数 (3)径 (4)長さ(mm) (5)ナット締 0:無 1:シングル 2:2重
 鋼管欠損 : (1) 0:無 1:有 (2)幅(mm) (3)高さ(mm)



DB_61 柱スタッド

部材番号:n X,Y方向データ:8n / X,Y方向データ 2:8n 種類:n

部材番号 : 参照元 DB_49
 種類 : 0:ボルト 1:ジベル
 X, Y方向データ : (1,2)径 (3,4)出の長さ(mm)
 (5,6)配列 [0:並列 1:チドリ]
 (7,8)列数 (1,2)本数 (3,4)ピッチ(mm)
 (5,6)ゲージ(mm) (7,8)取付開始高(mm)



DB_62 大梁断面コントロール

層面:n 部材番号:n / 有効条件:n 端部指定数:n コンクリト形状番号(DB_67キ-):n
 主筋形状番号(DB_68キ-):3n STP形状番号(DB_71キ-):n 鉄骨組立形状番号(DB_75キ-):n
 幅止筋形状番号(DB_74キ-):n 腹筋形状番号(DB_73キ-):n 鉄骨形状番号(DB_76キ-):n
 地業部材番号(DB_93キ-):n

層面 : 大梁以外では0

有効条件 : 以下参照

< 端部指定に該当しない大梁 > < 端部指定に該当する大梁 >

1:全断面 1:中央 1:中央 1:中央
 2:端部 2:内端(反対側一般梁あり) 2:該当しない端部用
 3:外端(反対側一般梁なし) 3:該当端部用

< 片持梁 >

1:全断面 1:先端
 2:端部指定に該当しない基端用
 3:端部指定に該当する基端用

端部指定数 : 有効条件に3を指定した場合に、5つまで指定できます。

主筋形状番号 : (1) 1段筋 (2) 2段筋 (3) 3段筋

DB_64 梁端部指定

層面:n 部材番号:n 有効条件:n / 壁面線:n 交差壁面線:5n

層面 : 大梁以外では0

有効条件 : 3(固定値)

壁面線 : 0の場合、全壁面線

交差壁面線 : DB_62の端部指定数分、指定する。

DB_65 梁鉄骨端部コントロール

層面:n 部材番号:n 有効条件:n 鉄骨継手番号(DB_77キ-):n 形状変化タイプ:n 定義:2n
 形状変化位置(mm):2n 溶接タイプ:2n 隅肉サイズ(1/10mm):2n 溶接有効長(1/10mm):2n

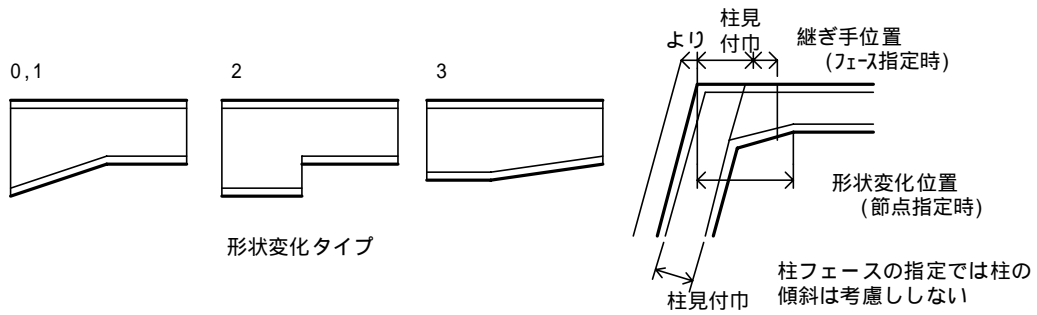
層面 : 大梁以外では0

有効条件 : 2 or 3

形状変化タイプ : 0,1:ハンチ 2:段差 3:元端同形

定義 : (1)継手 (2)形状変化 0,1:節点から 2:柱(下層優先)フェースから

形状変化位置 : (1)継手 (2)形状変化



溶接タイプ : (1)フランジ (2)ウェブ 1:突合せ溶接 2:両面隅肉溶接 3:片面隅肉溶接
隅肉サイズ : (1)フランジ (2)ウェブ 溶接タイプが1のとき省略可
溶接有効長 : 省略可

DB_66 梁コンクリート端部コントロール

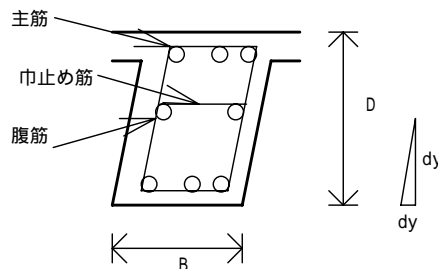
部材番号:n 層面:n 有効条件:n 形状変化タイプ:n 形状変化定義:n 形状変化位置(mm):n

層面 : 大梁以外では0
有効条件 : 2 or 3
形状変化タイプ : 0,1:ハンチ 2:段差 3:元端同形 (DB_65 参照)
形状変化定義 : 0,1:節点から 2:柱(下層優先)フェイスから

DB_67 梁コンクリート

コンクリート形状番号:n B(mm):n D(mm):n 傾き係数 d x :n 傾き係数 d y :n

コンクリート形状番号 : 参照元 DB_62



DB_68 梁主筋形状

主筋形状番号:n 上端鉄筋データ:7n 上端鉄筋データ:7n

主筋形状番号 : 参照元 DB_62
上/下端鉄筋データ : (1) 1種鉄筋本数 (2)2種鉄筋本数 (3) 1種鉄筋径番号(DB_2キ-) (4)2種鉄筋径番号(DB_2キ-) (5)かぶり(1/10mm) (6)幅方向位置指定番号(DB_69キ-) (7)2種鉄筋位置指定番号(DB_70キ-)

DB_69 梁鉄筋辺内位置

鉄筋位置番号:n 位置指定数:2n / 鉄筋順番:10n / 位置(1/10mm):10n

鉄筋位置番号 : 参照元 DB_68
位置指定数 : (1) 左側 (2) 右側
鉄筋順番 : 位置指定を行う鉄筋の順番を中央に向かって指定します。
位置 : 鉄筋順番で指定された鉄筋の位置を中央に向かって指定します。

入力例は DB_53 参照

DB_70 梁 2 種主筋並び位置

鉄筋位置番号:n 位置指定数:2n / 鉄筋順番:10n / 2 種鉄筋内順番:10n

鉄筋位置番号 : 参照元 DB_68

位置指定数 : (1) 左側 (2) 右側

鉄筋順番 : 2 種鉄筋内順番の指定を行う鉄筋の順番を中央に向かって指定します。

2 種鉄筋内順番 : 鉄筋順番で指定された鉄筋が 2 種鉄筋としては何番目に相当するか中央に向かって指定します。

入力例は DB_54 参照

DB_71 S T P

S T P 形状番号:n 本数:n 鉄筋径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n 巻き付方向番号(DB_72キ-):n

S T P 形状番号 : 参照元 DB_62

DB_72 S T P 巻き付け方向

巻き付方向番号:n 巻き付方向:10n

巻き付方向番号 : 参照元 DB_71

巻き付方向 : 0:左巻き 1:右巻き

DB_73 梁腹筋

腹筋形状番号:n 本数:n 鉄筋径番号(DB_2キ-):n

腹筋形状番号 : 参照元 DB_62

DB_74 梁幅止筋

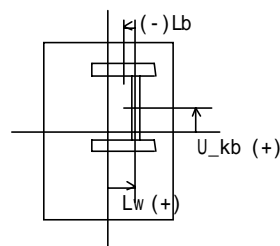
幅止筋形状番号:n 鉄筋径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n

幅止筋形状番号 : 参照元 DB_62

DB_75 梁鉄骨組立形状

鉄骨組立形状番号:n ウィ⁷ 取付き位置 Lb(mm):n コンクリート中心に対するウェブ Lw の位置(mm):n
コンクリート中心に対する中心 U_kb の位置(mm):n

鉄骨組立形状番号 : 参照元 DB_62

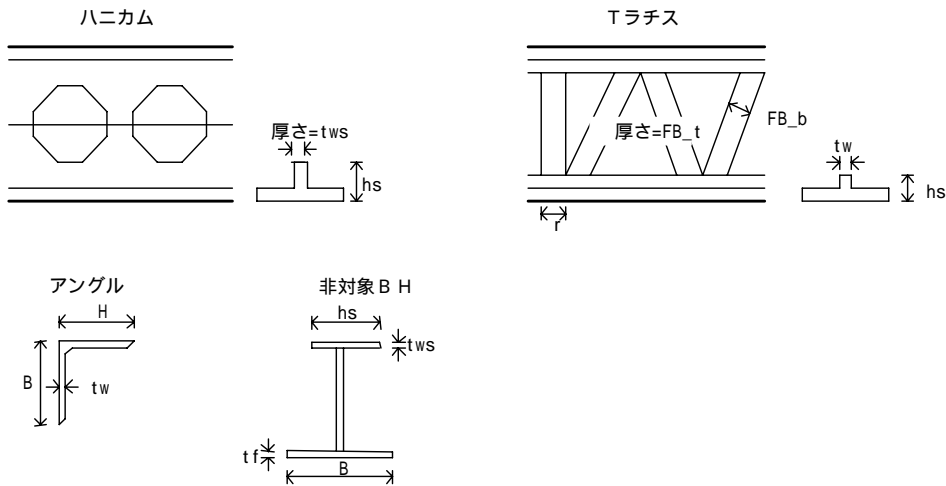


DB_76 梁鉄骨単材形状

鉄骨形状番号:n 種類:n H(mm):n B(mm):n tw(1/10mm):n tf(1/10mm):n r(1/10mm):n /

ハニカムフランジ部品高さ $hs(mm):n$ ハニカムフランジ部品板厚さ $tws(1/10mm):n$
 FB 部品の幅 $FB_b(mm):n$ FB 部品の厚さ $FB_t(1/10mm):n$ 材種番号(DB_3キ): $3n$
 C,L 鋼の向き: n L 鋼のウェブ位置: n

鉄骨形状番号 : 参照元 DB_62
 種類 : 0:H 1:BH 2:BHラテス 6:Tラテス 7:ハニカム H 8:非対称 BH 12:C 13:L 14:2C 15:2L
 12:C 13:L 14:2C 15:2L
 材種番号 : (0):フランジ (1):ウェブ (2):端部ウェブ
 C,L 鋼の向き : 0:左 1:右
 L 鋼のウェブ位置 : 0:上 1:下



DB_77 梁継ぎ手

鉄骨継手番号: n フランジ継手形状番号(DB_94キ-): n ウェブ継手形状番号(DB_95キ-): n
 クリアランス(mm): n

鉄骨継手番号 : 参照元 DB_65

DB_78 プレース部材断面コントロール

部材番号: n 層面: n コンクリート形状番号(DB_51キ-): n 主筋形状番号(DB_52キ-): $3n$
 フープ形状番号(DB_55キ-): n ダイアフープ形状番号(DB_57キ-): n
 鉄骨組立形状番号(DB_58キ-): n 鉄骨形状番号(DB_59キ-): $2n$

主筋形状番号 : (1)1種 (2)2種 (3)芯鉄筋
 鉄骨形状番号 : (1)面内方向(BOX等の単材かねる) (2)壁面直交方向

DB_79 プレース加工コントロール

層面: n 部材番号: n おさえ: $2n$ ガゼットプレート厚(mm): $2n$ 継手番号(db_50キ-): $2n$
 継手位置(mm): $2n$

おさえ : (1)頭部 (2)脚部 0,1:フェイス 2:芯芯 3:梁芯 4:柱芯
 ガゼットプレート厚,継手番号,継手位置 : (1)頭部 (2)脚部

DB_80 床部材断面コントロール

部材番号: n スラブ厚: $2n$ 配筋種別: n 主筋形状番号(DB_81キ-): $2n$ 加り厚: $2n$ ハンガ長: $2n$

スラブ厚 : (1)中央 (2)端部
 配筋種別 : 0:ラップ(上通し) 1:ラップ(上トメ) 2:ベンド(上通し)
 3:ベンド(上トメ) 4:モチアミ
 主筋形状番号 : (1)短辺方向 (2)長辺方向
 かぶり厚,ハッチ長 mm: (1)短辺方向 (2)長辺方向

DB_81 床主筋

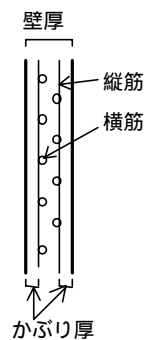
主筋形状番号:n 方向:n / 柱間帯端部鉄筋径番号(DB_2キ-):4n
 柱間帯中央鉄筋径番号(DB_2キ-):4n 柱列帯全断面鉄筋径番号(DB_2キ-):4n
 柱間帯端部ピッチ(mm):2n 柱間帯中央ピッチ(mm):2n 柱列帯全断面ピッチ(mm):2n

主筋形状番号 : 参照元 DB_80
 方向 : 0:短辺方向 1:長辺方向
 柱間帯端部/柱間帯中央/柱列帯全断面鉄筋径番号 : (1)上端1種筋 (2)上端2種筋
 (3)下端1種筋 (4)下端2種筋
 柱間帯端部/柱間帯中央/柱列帯全断面ピッチ : (1)上端筋 (2)下端筋

DB_82 壁部材断面コントロール

部材番号:n 壁厚(mm):n 種類:n 主筋形状番号(DB_84キ-):2n
 幅止筋形状番号(DB_85キ-):n かぶり厚さ(mm):2n

種類 : 0:コンクリート 1:ブロック
 主筋形状番号 : (1)縦筋 (2)横筋
 かぶり厚さ : (1)右側 (2)左側



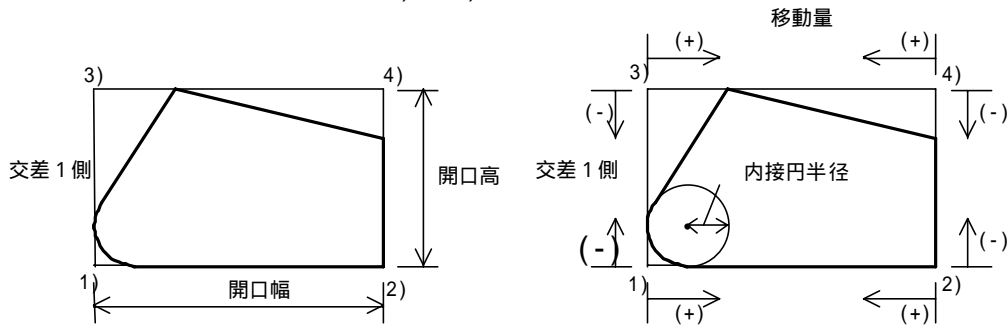
DB_83 壁開口形状

部材番号:n 開口幅(mm):n 開口高(mm):n / 外周上移動量(mm):4n 内接円半径(mm):4n

開口補強筋番号(DB_86キ-) : 3n

外周上移動量 : 下図 1) ~ 4) >0: x方向 <0: y方向

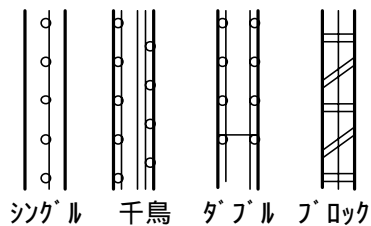
内接円半径 : 下図 1) ~ 4)



DB_84 壁主筋

主筋形状番号:n 方向:n タイプ:n 鉄筋径番号(DB_2キ-) : 2n ピッチ(mm) : n
 端部補強筋径番号:n 端部補強筋位置(mm) : n

- 主筋形状番号 : 参照元 DB_82・99
 方向 : 0:縦筋 1:横筋
 タイプ : 縦筋時 0:シングル 1:ダブル 2:千鳥
 横筋時 0:シングル左 1:シングル右 2:ダブル内外
 3:ダブル内々 4:ダブル外外 5:ダブル外内
 6:千鳥内外 7:千鳥内々 8:千鳥外外 9:千鳥外内
 鉄筋径番号 : (1)1種 (2)2種



DB_85 壁幅止筋形状

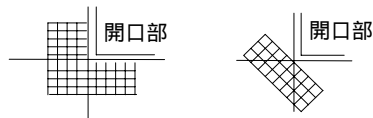
幅止筋形状番号:n 幅止筋の本数:n 鉄筋径番号(DB_2キ-) : n ピッチ(mm) : n

幅止筋形状番号 : 参照元 DB_82・99

DB_86 壁開口補強筋

開口補強筋番号:n 最大壁厚(mm) : n 鉄筋径番号(DB_2キ-) : 3n 鉄筋本数:3n メッシュ:n

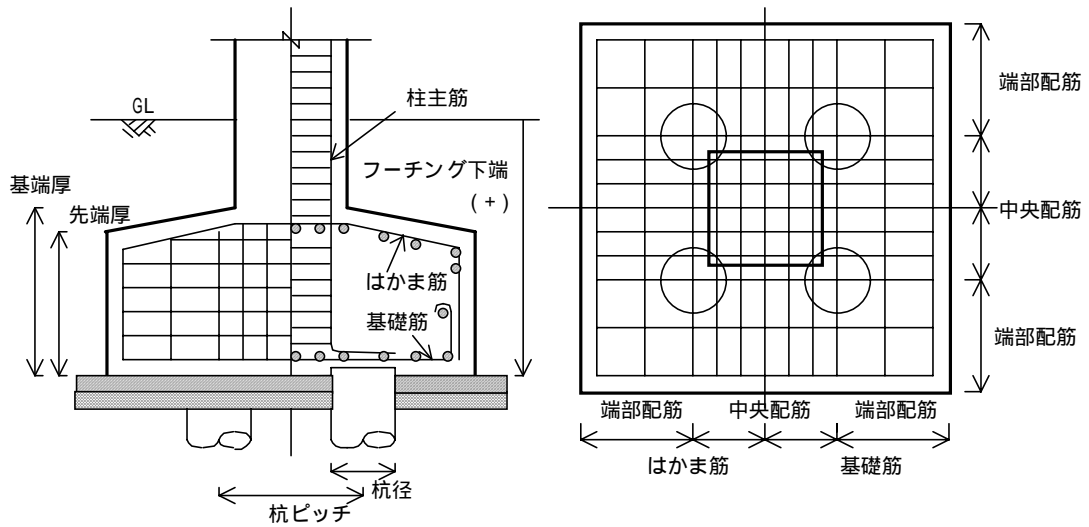
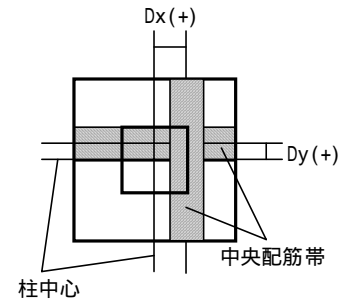
- 開口補強筋番号 : 参照元 DB_83
 鉄筋径番号, 鉄筋本数 : 1)縦 2)横 3)斜
 メッシュ : 0:無 1:正規 2:斜



DB_87 独立基礎部材コントロール

部材番号:n コンクリート形状番号(DB_88 ｷ-):n
 基礎筋形状番号(DB_89 ｷ-):n はかま筋形状番号(DB_90 ｷ-):n
 地業形状番号(DB_93 ｷ-):n 中央配筋の柱芯からのズレ(mm):2n

中央配筋の柱芯からのズレ:(1)Dx (2)Dy



DB_88 独立基礎コンクリート

コンクリート形状番号:n 形状タイプ:n 杭本数:n 杭部材番号(DB_91キ-):n
 杭ピッチ端あき(mm):n 基端厚(mm):n 先端厚(mm):n フーチングD x (mm):n
 フーチングD y (mm):n 基礎のみこみ長さ(mm):n

コンクリート形状番号 : 参照元 DB_87

杭本数	タイプ 1	タイプ 2	タイプ 3	タイプ 4	タイプ 5
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10				<p>主軸 X 方向</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>P : 杭ピッチ</p> <p>E : 端あき</p> <p>C : $\frac{3}{2} \times P$</p> <p>D : $\frac{2}{2} \times P$</p> </div>	
11					
12					

DB_89 基礎筋

基礎筋形状番号:n 方向数:n / 中央配筋幅(mm):2n 中央配筋本数:2n
 中央配筋鉄筋径番号(DB_2キ-):2n 端部配筋鉄筋径番号(DB_2キ-):2n 端部配筋ピッチ(mm):2n
 / 下端鉄筋重心位置(mm):2n フックの有無:2n

基礎筋形状番号 : 参照元 DB_87

中央配筋幅/本数/鉄筋径番号 : (1) X方向 (2) Y方向

端部配筋鉄筋径番号/ピッチ : (1) X方向 (2) Y方向

下端鉄筋重心位置/フックの有無 : (1) X方向 (2) Y方向

DB_90 独立基礎はかま筋

はかま筋形状番号:n Z方向本数:n Z方向鉄筋径番号(DB_2キ-):n / 中央配筋幅(mm):2n
 中央配筋本数:2n 中央配筋鉄筋径番号(DB_2キ-):2n 端部配筋鉄筋径番号(DB_2キ-):2n
 端部配筋ピッチ(mm):2n
 / 上端鉄筋重心位置(mm):2n フックの有無:2n

基礎筋形状番号 : 参照元 DB_87

中央配筋幅/本数/鉄筋径番号 : (1) X方向 (2) Y方向

端部配筋鉄筋径番号/ピッチ : (1) X方向 (2) Y方向

上端鉄筋重心位置/フックの有無 : (1) X方向 (2) Y方向

DB_91 杭部材コントロール

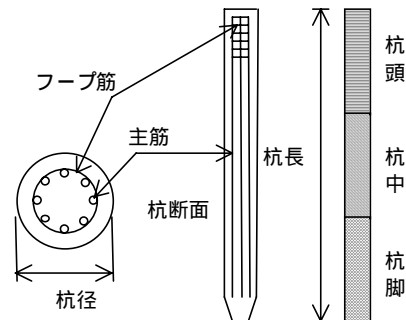
部材番号:n 工法:n 種類:n / 打ち継ぎ数:3n 杭径(mm):3n 杭長(mm):3n
 鉄筋部品番号(DB_92キ-):3n / 既製杭データ:12n

部材番号 : 参照元 DB_88・97

工法 : 0:なし 1:アースドリル 2:リバース 3:リバースサーキュレーション
 4:オールケーシング 5:ミニアース(ドリル)

種類 : 0:場所打ち 1:埋め込み

打ち継ぎ数, 杭径, 杭長, 鉄筋部品番号 : (1) 杭頭 (2) 杭脚 (3) 杭中



DB_92 杭鉄筋

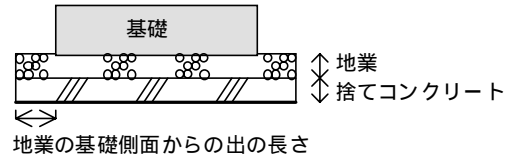
部品番号:n 主筋本数:n 主筋鉄筋径番号(DB_2キ-):n
 フープ鉄筋径番号(DB_2キ-):n フープピッチ(mm):n 鉄筋重心位置(mm):n

部材番号 : 参照元 DB_91

DB_93 地業形状

部品番号:n 地業タイプ:n 捨てコンクリートの厚さ(mm):n
 地業の厚さ(mm):n 地業基礎面からの出の長さ(mm):n

部材番号 : 参照元 DB_62・87
 地業タイプ : 0:砕石 1:割栗本数



DB_94 フランジ継手

フランジ継手形状番号:n ボルト径:n ピッチ(1/10mm):n ゲージ1(1/10mm):n
 ゲージ2(1/10mm):n 外添え板のはしあき(1/10mm):n 内添え板のへり空き(1/10mm):n
 はしあき(1/10mm):n ボルト配置パターン:n 配列:n 列数:n ボルト本数:n /
 外添え板厚(1/10mm):n 内添え板厚(1/10mm):n

フランジ継手形状番号 : 参照元 DB_50・77
 ボルト配置パターン : チドリ1本目が、0:内 1:外
 配列 : 0:並列 1:千鳥

DB_95 ウェブ継手

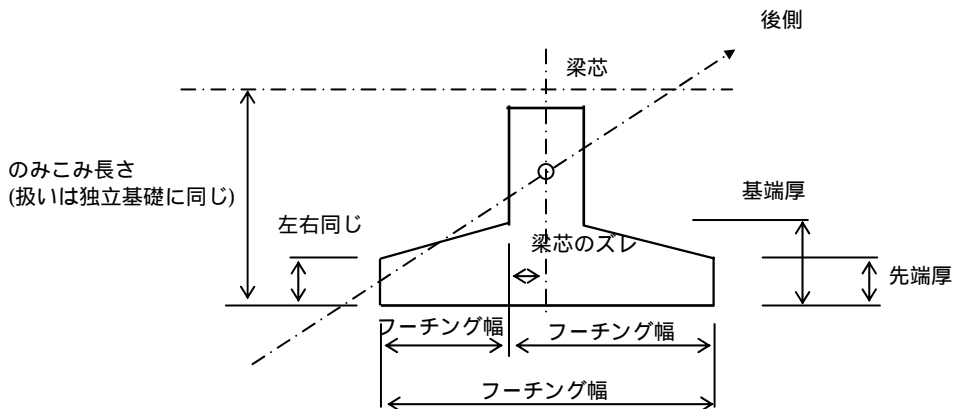
ウェブ継手形状番号:n ボルト径:n せい方向ピッチ(1/10mm):n 部材方向ピッチ(1/10mm):n
 はしあき(1/10mm):n 添え板厚(1/10mm):n ボルト配置パターン:n 配列:n 列:n
 ボルト本数1:n ボルト本数2:n

ウェブ継手形状番号 : 参照元 DB_50・77
 ボルト配置パターン,配列 : DB_94 に同様

DB_96 布基礎部材コントロール

部材番号:n コンクリート形状番号:n 基礎筋形状番号:n 地業形状番号(DB_98キ):n
 梁心のズレ(mm):n 梁コンクリート形状番号:n 梁主筋形状番号:3n STP形状番号:n 腹筋番号:n
 幅止め筋番号:n

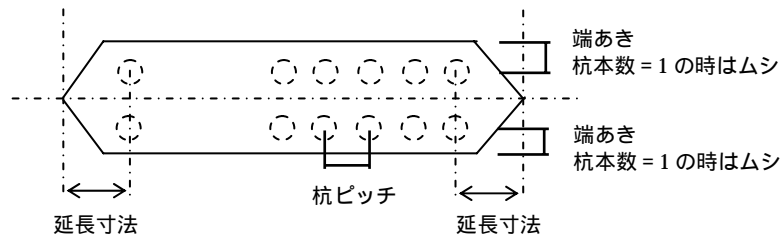
コンクリート形状番号 : DB_97 で定義される番号
 梁コンクリート形状番号 : DB_67 で定義される番号
 梁主筋形状番号 : (1) 1段筋 (2) 2段筋 (3) 3段筋 DB_68 で定義される番号
 STP形状番号 : DB_71 で定義される番号
 腹筋番号 : DB_73 で定義される番号
 幅止め筋番号 : DB_74 で定義される番号



DB_97 布基礎コンクリート形状

コンクリート形状番号:n 杭本数(断面方向):n 杭部材番号(DB_91キ-):n 杭ピッチ(mm):n 端あき:n
 基礎厚(mm):n 先端厚(mm):n フーチング幅(mm):n 基礎のみこみ長さ(mm):n

コンクリート形状番号 : 参照元 DB_96



DB_98 布基礎基礎筋部材

基礎筋形状番号:n 配筋径番号:3n 配筋ピッチ(mm):3n 配力筋径番号:3n 配筋本数:3n

基礎筋形状番号 : 参照元 DB_96
 配筋径番号 : (1) 1種 (2) 1種 (3) 袴筋
 配筋ピッチ : (1) 下端筋 (2) ダミ (3) 袴筋
 配力筋径番号, 配筋本数 : (1) 下端 (2) 繋ぎ (3) 上端

DB_99 ハラハット部材

部材番号:n 寸法(1/10mm):10n 主筋形状番号(DB_84キ-):n 幅止め筋形状番号(DB_85キ-):n
 天端筋本数:n 天端筋径番号(DB_2キ-):n

DB_100 室用途・仕上表

部材番号:n 部屋名称:c37 色番号:n
 / 積載荷重:4f 床仕上:f / 天井仕上:f RC部材仕上:4f / S部材仕上:5f

部材番号 : 参照元 DB_30
 積載荷重 : (1) 床用 (2) 長期 (3) 地震時 (4) 積雪時
 RC/S部材仕上 : (1) 柱 (2) 大梁 (3) 小梁 (4) プレス
 S部材仕上データが、<0 の時は箱型形式のS部材仕上げを示す。
 色番号 : 最大 15 番まで選択可能。ただし、色番号=0 のロードは 2ロード以上存在できないものとし、部材番号が配置されない領域に適用するものとする。表における色の選択場面では、"省略時"として選択されるものとする。

DB_101 階段

部材番号:n 蹴上げ(1/10mm):n コンクリート厚さ:n 階段筋形状番号(DB_102キ-):n
 鉄板情報(1/10mm):5n

鉄板情報 : (1) 厚さ (2) 幅

DB_102 階段筋形状

階段筋形状番号:n 段部1種鉄筋径番号(DB_2キ-):n 段部2種鉄筋径番号(DB_2キ-):n
 ピッチ(mm):n 稲妻筋鉄筋径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n 段ばな筋鉄筋径番号(DB_2キ-):n
 本数(mm):n 配力筋鉄筋径番号(DB_2キ-):n ピッチ(mm):n

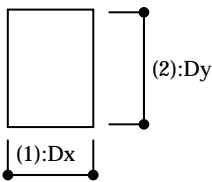
階段筋形状番号 : 参照元 DB_101

DB_103 木材

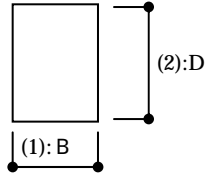
部材番号:n 断面寸法:2n 材質番号:n 接合金物番号:2n 燃えしろ:3n

断面寸法 : 下記参照

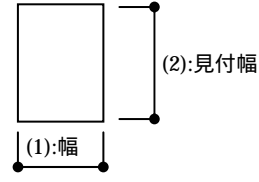
柱使用



梁使用



ブレース使用



接合金物番号 : DB_111 で定義される番号

燃えしろ : (1)燃えしろ面数 (2)タイプ番号 (2)側面燃えしろ高さ(1/10mm)

Dy=0 は円断面を示す。

DB_104 合板セット

部材番号:n 壁厚さ(1/10mm):n 合板厚さ:2n リブピッチ:n 合板材質番号:2n リブ材形状番号:n
釘:4n 基準サイズ:2n

合板厚さ : ・床面時(1)床面 (2)天井面 ・壁面時(1)左面(1/10mm) (2)右面(1/10mm)

リブピッチ : ・床面時: 根太 (床面配置で方向指定がない場合は格子根太と解釈する)

・壁面時: 控柱(1/10mm)

合板材質番号: DB_110 で定義される番号

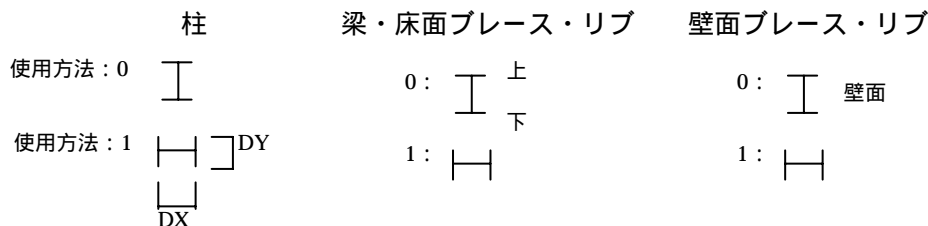
リブ材形状番号: DB_103 定義される番号

釘: (1)釘種類番号 (2)間隔(1/10mm) (3)せん断降伏耐力(1/10N) (4)すべり剛性(1/10N/mm)

基準サイズ: (1)幅(1/10mm) (2)高さ(1/10mm)

DB_105 単材鉄骨

部材番号:n 部材番号(DB-59:柱鉄骨単材):n 使用方向:n



DB_106 床面ブレース配置

層面番号:n 通り線番号:4n 周辺通り線数:n 部材番号:n 使用方法:n 対角ブレース配置:4n

部材番号 : DB_103,105 で定義される番号

対角ブレース配置 : 0:無し 1:有り 10以上:火打ち

火打ち時は、頂点から 1/10(mm)の位置に取り付くものとする。

DB_107 ボルト材種

ボルト呼び径:n ボルト材種:n 孔:3n

ボルト材種: 1:F8T 2:F10T 3:F11T 4:中ボルト

孔 : ピッチ(1/10mm)、ボルト縁端距離(1/10mm)、穴径(1/10mm)

DB_108 壁交差部鉄筋

部材番号:n 鉄筋径番号:4n

鉄筋径番号:(1)左下 (2)右下 (3)左上 (4)右上

DB_109 壁交差部鉄筋配置

層面番号:2n 交差通り線番号:2n 部材番号:n 主軸方向(rad):f

層面番号 : (1)下 (2)上

部材番号 : DB_108 で定義される番号

DB_110 木材種定義

材種番号:n 略称:c21 樹種名称:c47 各パラメータ:7f 強度等級:c21

材種番号 : 以下は未確定時に採用される材種番号 0:全 1:柱用 2:梁用 3:筋かい用 4:合板

各パラメータ : (1)圧縮基準強度 (2)引張基準強度 (3)曲げ基準強度 (4)せん断基準強度

(5)ヤング係数 (6)せん断弾性係数 (7)単位体積重量

DB_111 接合部金物

部材番号:n 剛性(強軸・x):9f 剛性(弱軸・y):9f

剛性 : (1)回転剛性 許容圧縮応力((2)長期 (3)短期) 許容引張応力((4)長期 (5)短期)

許容曲げ応力((6)長期 (7)短期) 許容せん断応力((8)長期 (9)短期)

DB_112 全体積算条件

条件種類:n データ:10n

DB_113 Api 柱配置

下/上層面:2n 交差通線:2n データ種類:n データ:5n データ:5f

DB_114 Api 梁部配置

層面:n 壁面線:n 交差通線:2n データ種類:n データ:5n データ:5f

DB_115 Api 床部配置(その1)

層面:n 周辺通線:4n 周辺通線数:n データ種類:n データ:6n データ:5f

DB_116 Api 床部配置(その2)

層面:n 通線順番(>4):n 周辺通線:3n データ種類:n 通線:n

DB_117 Api 節点部配置

層面:n 交差通線:2n データ種類:n データ:6n データ:5f

DB_118 Api 壁面部配置

下/上層面:2n 通線:n 交差通線:2n データ種類:n データ:6n データ:5f

DB_119 Api 空間部配置(その1)

下/上層面:2n 通線:4n 周辺通線数:n データ種類:n データ:5n データ:5f
--

DB_120 Api 空間部配置(その2)

層面:n 通線順番(>4):n データ種類:n 通線:n

DB_121 柱梁仕口部板厚

部材番号:n 仕口形式:2n 仕口部板厚:5n 鋼板材種番号:5n

DB_122 柱梁仕口部板厚配置

層面:n 交差通線:2n 部材番号:n

DB_123 アンカーボルト材種

ボルト呼び径:n ボルト材種:n データ:4f 表示行:n

DB_124 既製杭登録

杭番号:n 登録番号:n / 杭製品名称:c39 データ:4n / データ:12f

DB_125 直接指定の数量計算式

データ行番号:n 部材番号:n 階番号:n 計算結果の増減:n 個所数:n 材料種類:n 材料参照用番号:n 材料規格:n / 計算式:c128 / コメント:c48
--